

第4回 飯塚市文化施設活用検討委員会

日 時：令和6年1月29日（月）

15：00～

場 所：イイツカコミュニティセンター
2階 展示ホール

【飯塚市文化施設活用検討委員会委員】

- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 徳永 高志 委員 | <input type="checkbox"/> 河 知延 委員 | <input type="checkbox"/> 瓜生 隆弘 委員 | <input type="checkbox"/> 緒方 亮輔 委員 |
| <input type="checkbox"/> 鈴木 彩 委員 | <input type="checkbox"/> 榎本 二郎 委員 | <input type="checkbox"/> 安徳 一紀 委員 | <input type="checkbox"/> 長曾我部 徹 委員 |
| <input type="checkbox"/> 金原 梨奈 委員 | <input type="checkbox"/> 多賀谷 勇氣 委員 | <input type="checkbox"/> 元野木 正比古 委員 | <input type="checkbox"/> 中島 孝行 委員 |
| <input type="checkbox"/> 竹川 克幸 委員 | <input type="checkbox"/> 奥田 るり 委員 | <input type="checkbox"/> 豊嶋 陽子 委員 | |

【事務局】

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 山田 教育部長 | <input type="checkbox"/> 坂口 文化課長 | <input type="checkbox"/> 久原 文化施設整備担当参与 |
| <input type="checkbox"/> 吉田 文化施設整備推進係長 | <input type="checkbox"/> 西田 文化施設整備推進係主任 | |
| <input type="checkbox"/> 原野 商工観光課長 | <input type="checkbox"/> 本松 商工観光課長補佐 | <input type="checkbox"/> 靱井 観光係長 |

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 題

- (1) 第4～6回市民ワークショップの開催報告
- (2) 改修計画の検討状況
 - ① 法令調査、建築指導課協議の報告
 - ② 附属棟の配置計画について
 - ③ 劇場の収容人数について
- (3) 事業計画（案）について
- (4) 組織計画の考え方について
- (5) 休館中のプレイベントについて
- (6) 今後の審議の進め方

4 その他

5 閉 会

第5回 飯塚市文化施設活用検討委員会開催予定日 3月26日（火）15：00～

第4回 飯塚市文化施設活用検討委員会

令和6年1月29日（月）

本日の議題

1. 第4～6回市民ワークショップの開催報告
2. 改修計画の検討状況
3. 事業計画（案）について
4. 組織計画の考え方について
5. 休館中のイベントについて
6. 今後の審議の進め方

1.第4～6回市民ワークショップの開催報告

これからの嘉穂劇場について考える市民ワークショップ

【第4回市民WS】

開催日時 令和5年10月28日（土）13：30～15：30

開催場所 イヅカコミュニティセンター 3階 サクスホール

参加者数 17名

テーマ 「どうやって魅力を発信する？」



休館中にできる情報発信アイデア

イベント

- ・劇場前広場でのイベント、キッチンカーを呼びこむ
- ・劇場応援映え写真フォトコンテストイベント
- ・現場見学ツアー

現状の公表

- ・シンポジウムの開催、アンケートの実施
- ・市のウェブサイトを利用して、広く意見を求める
- ・公式HP立ち上げ（何もなくても毎日発信）

紙媒体

- ・貴重な写真をおさめた写真集を出版して、期待感を醸成
- ・文化とまちをコンセプトにした情報誌を発行
- ・市報、区の回覧板、新聞

市民協働

- ・市民協働の作品作り、劇場案内人の育成

再オープン後の施設・イベント情報発信アイデア

インターネット

- ・SNSの活用（インスタの影響は大！）
- ・マスメディアを使う、役者さんに紹介してもらう

グッズ・デザイン制作

- ・嘉穂劇場のシンボルマーク、魅力的なポスターデザイン
- ・嘉穂劇場マスコット作成
- ・グッズ販売

地域とのつながり

- ・劇場の周りに街灯！
- ・嘉穂劇場にミニFM局をつくり、地域のイベント情報を発信
- ・市民による年越しカウントダウンイベント

運営

- ・窓口担当には情報発信するための様々な手段を考え、行動できる人を！

これからの嘉穂劇場について考える市民ワークショップ

【第5回市民WS】

開催日時 令和5年11月25日（土）13：30～15：30

開催場所 イイツカコミュニティセンター 2階 展示ホール

参加者数 12名

テーマ 「自分たちにできることは？」



現在の計画や開館後の運営にどんな立場に関わりたい？
市民にできる運営サポートとは？

嘉穂劇場だからこそ必要なスタッフとは？
運営者にはどんな役割があるとよい？

広報・PR

- ・ウェブサイトや機関誌などの広報活動サポート
- ・チラシ、ポスターの作成（デザイナー経験あり）
- ・看板のデザイン作成、見学者用のビデオ作成

ボランティア・サポーター

- ・サポーター員として具体的に関わりたい
- ・劇場サポートスタッフとして働きたい
- ・ボランティア、スタッフの継続性、次につなげる仕組みが必要
- ・若い人にもボランティア・スタッフとして関わってほしい
- ・運営委員、実行委員を作る

劇の演出や出演

- ・時代劇など演劇公演への出演
- ・時代劇の演出、舞台美術道具の管理と制作、俳優育成

ボランティア体制

- ・ボランティア団体の運営や全体調整できる体制を徹底
- ・ボランティアコーディネーター（ボランティアを育てる人）

学校との連携

- ・学校とパイプを持っている人材
- ・学校と連携し、小中高学校の発表会を行う

色々できる人、スタッフ

- ・映画祭や歌舞伎公演の企画ができる人
- ・スタッフは緊急時の対応ができるように研修、育成を徹底
- ・他施設とのネットワークを持つ人材
- ・舞台道具の管理スタッフ
- ・外国語のできる案内スタッフ

これからの嘉穂劇場について考える市民ワークショップ

【第6回市民WS】

開催日時 令和5年12月23日（土）13：30～15：30

開催場所 イヅカコミュニティセンター 2階 展示ホール

参加者数 17名

テーマ 「まとめ&特別講演会」



計画案に対する感想や追加してほしい視点・アイデア

- ・コスモスコモンと嘉穂劇場の使い分けを戦略的に
- ・名誉館長の公募
- ・スポンサーの募集
- ・一番のポイントは「運営主体」
- ・市民応援団の組織づくり
- ・子ども劇場や市民劇場と協力していく
- ・筑豊の消えた劇場とコラボしてほしい
- ・公共施設になったからには学校との連携を！
- ・お酒が飲める日をつくる
- ・飯塚ブランドの商品のお買い物ができる場
- ・この会の活動を具現化するために何が必要か議論すべき
- ・住民の代表・ボランティアなど具体的な行動が必要かと
- ・若い世代、高齢者など縦のつながりがある集まりが必要
- ・“生きる劇場”に

講演会を受けての感想

- ・応援するのはファン！
- ・物語があるものにはお金をおとす
→嘉穂劇場にはその価値がある
- ・皆に愛される劇場に
- ・いろいろ問題があっても、一部だけでも残せる奇跡！
- ・劇場を通して市民がつながる視点って大事だなあ
- ・伝統と最先端の融合、楽しみです
- ・議論し続けるのが大事だと感じました
- ・劇場を通して地域の人々が集まり意見を出し合って創造し続けるサイクル
- ・大人向けの講座をしてほしいです
- ・文化、芸能、地域を好きになる教育を地道に…
- ・“劇場文化を育み、地域を共につくる”
→飯塚市もそうなりたいと思いました

2. 改修計画の検討状況

● 今後の方針（案）

- 劇場棟以外の各棟については除却（取り壊し）を行う
- 劇場としての利用を維持するため、改修のほか増築を検討する
- 増築の方針については、建築基準法適用除外(ルートA-1)、改正法の活用(ルートB-1)の2つを並行して検討する

● 今後の委員会での議論内容に対する影響

- ・ 建築基準法適用除外・改正後の建築基準法への適合の両方を想定しながら、複数の計画案を検討
 - 本委員会においては、ルートに関わらず改修方針を検討
 - 法的な検討状況についての進捗は、随時委員会でも情報共有を行う

法的確認に関する進捗報告

●改正法の活用（ルートB-1）について

- ・2023年11月に国土交通省より、改正法の説明資料が発表される

⇒改正法が施行された後も、基準に適合しない項目が複数ある状況であると判明。

（屋根の耐火性能、室内の内装の耐火性能、階段の寸法などに緩和規定がなく、増築を行う場合には劇場棟本体も現行法に合った性能/寸法が求められる）

- ・そのためルートB-1については一度断念し、ルートA-1（建築基準法適用除外）を検討

法的確認に関する進捗報告

● 建築基準法適用除外（ルートA）について

・2024/1/25に福岡県建築指導課と打合せを実施

⇒建築基準法適用除外の実現に向けた必要手順や、増築部分の設計条件などについて確認

● <参考> 建築基準法適用除外に必要な手続きについて

1. 市が保存すべき文化財として指定を行う
2. 保存活用計画の策定～文化財としての保存の方針を明記
3. 建築計画の作成（設計）
4. （県）建築審査会での審査

・それぞれの**実施時期やスケジュール感**については、建築指導課打合せを受けて**調整中**

・**劇場棟以外**は一度撤去して、**必要な機能を増築する**という方向性は変わらない

● 主な検討事項

- ①**楽屋** : 多目的利用の可能性検討（会議利用、練習利用など）
- ②**事務室** : 職員数に応じた執務スペース面積の検討
- ③**売店** : 規模や内容の検討
- ④**舞台備品庫** : 大道具備品の種類と量の確認
- ⑤**保存庫** : 雨戸・保存資料等の種類・量の確認
- ⑥**展示室** : 規模や運営の考え方検討（企画展の有無、収蔵量の確認）
- ⑦**駐車場** : 必要台数や利用イメージの検討（主催者専用とするか）
- ⑧**広場** : 芝生や緑化と望見との調整、キッチンカーなどの乗り入れ対応、イベント対応、その他周辺との連携
- ⑨**アクセス** : 大型バスへの対応、タクシー・一般車の送迎・乗降
- ⑩**その他追加すべき機能**

劇場の収容人数について

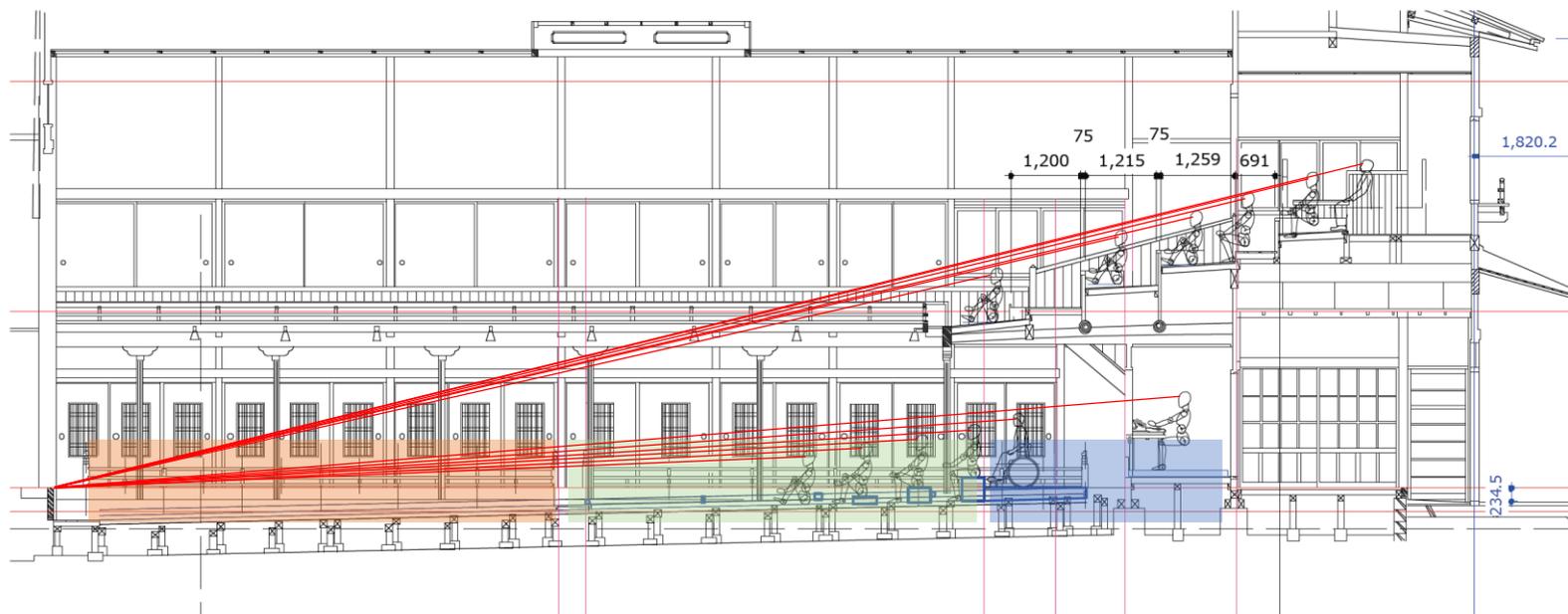
● 主な検討事項

① 椅子席について

椅子席を設置した場合、平土間では後列の人が見えなくなるため段床にする必要がある

→高場からのサイトラインに配慮すると高さに制限があるため、**椅子席を設置できるのは最後部2列のみ**

→**客席前方エリアは柵席**、**後方エリアは高さの低いベンチや座椅子**など



劇場の収容人数について

● 主な検討事項

② 席数について

下表のとおり、快適性や消防法に基づいた席配置とした場合、収容人数は1000席以下になることが見込まれる

	改修前		改修後	
	座席表	館内掲示	快適な配置	最大収容人数*
1階席	814席	873席	450席	602席
2階席	384席	363席	201席	201席
合計	1198席	1236席	651席	803席

*柵席について消防法に基づき6人/柵でカウント

劇場の収容人数について

● 主な検討事項

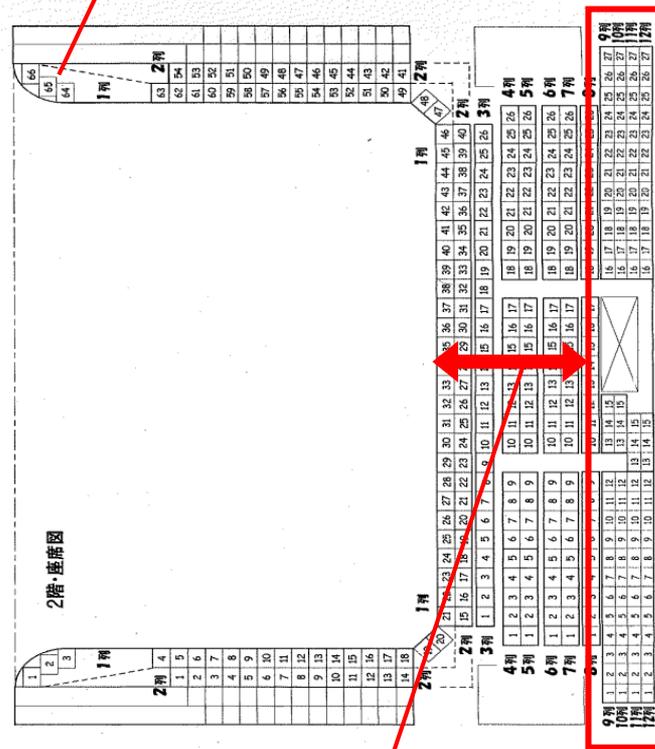
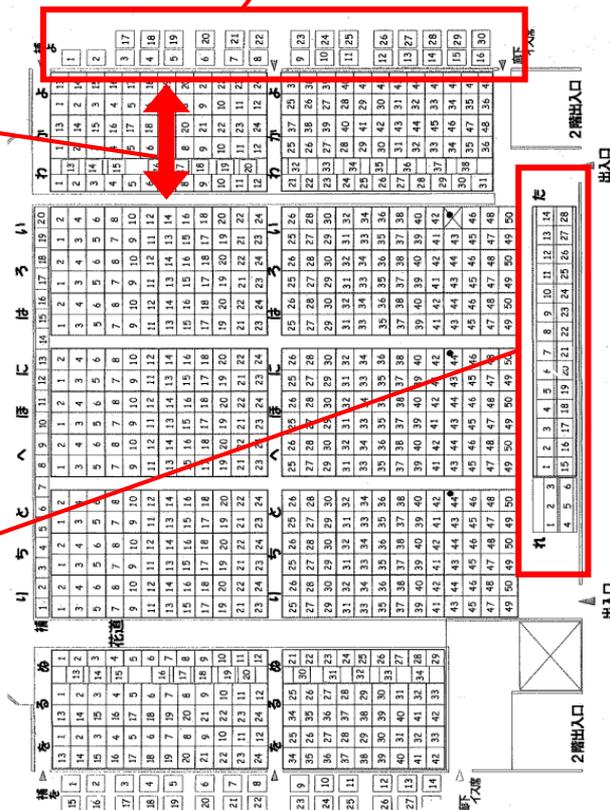
見えにくいため使用なし

照明を設置するため
使用なし

後方2列は見えにくく
通路が必要なため
4列から2列に変更

奥行不足

奥行不足、
調整卓
設置予定



改修前座席表と変更方針

奥行不足

3. 事業計画（案）について

管理運営計画の基本的な考え方

基本理念（案）を実現するため、下記4つの基本方針を軸に運営を行います。

基本方針①	多様な世代をターゲットとしたコンテンツを誘致・発信する 鑑賞 集客 多世代 エンタメ
基本方針②	未来の観客や文化施設人材を育む体験の場を構築する 普及 体験 参加 こども
基本方針③	文化的・歴史的価値を活かし、唯一無二の観光資源とする 文化財 観光 ユニークベニュー
基本方針④	地域や市民と連携しながらエリアの活性化を推進する 地域連携 市民参画

基本理念（案）

古き芝居小屋が放つ空気感に 新しい出会いが重なり
嘉穂劇場は色あせることのない賑わいの劇場に

事業計画（案）

（１）基本的な考え方

答申書でとりまとめた通り、これまでと同様に「**興行場**」としての運営を目指します。

具体的には、劇場としての**公演利用**と、観光地としての**施設公開（見学）**を主軸としながらも、**ユニークベニュー**としての会議、レセプション、式典などへの貸出も行います。

また、**コスモスコモンと連携**を図りながら、大規模催事の誘致（学会・集会等）を目指すほか、市民や文化団体への施設貸出の枠を確保し、嘉穂劇場の空間を体感できる機会を提供します。

★WSでの主な意見

- ・学生やアマチュア団体などの発表の場としても活用
- ・空き日には市民が施設レンタルできるように
- ・美術館がないので、展示ギャラリーとしても市民へ貸し出してほしい

事業計画（案）

（２）想定する利用ジャンル

嘉穂劇場のこれまでの利用実績や検討委員会、市民ワークショップの意見をふまえ、幅広い利用ジャンルを想定します。施設改修においても多目的ホールとしての機能を付加した計画を検討します。

ジャンル		具体的なコンテンツ
舞台芸術系	大衆芸能・演芸	大衆演劇、落語、漫才など
	音楽	ロック、ポップス等PAを使用するものなど ※PA…マイクやスピーカーなどの音響機材
	伝統芸能	歌舞伎、日本舞踊、能、狂言など
	舞踊	新舞踊、現代舞踊など
	演劇	現代演劇、ミュージカルなど
会議・集会系	講演会、学会、企業イベント、学校行事など	

事業計画（案）

（3）事業の定義

本計画における事業の定義は以下の通りです。飯塚の文化拠点として、これまで以上に多様なイベントを主催するのはもちろんのこと、施設を提供する「貸館事業」も重要な事業のひとつと位置付けます。

分類		内容
自主事業	主催	<ul style="list-style-type: none">・施設の運営主体が主催する事業・事業実施の全リスクを負いプロデュースする「制作型」と、プロダクションやプロモーターからパッケージ化されたコンテンツを購入する「買取型」に分類される
	共催	<ul style="list-style-type: none">・施設の運営主体と他団体（民間企業・団体等）が共同で主催する事業・他団体とコスト分担しながら制作やツアー連携する「共同制作」、特定団体や企業等と互恵的な形で開催する「提携」、事業への賛同や応援の意志表明等、間接的な支援を行う「後援」に分類される
貸館事業		<ul style="list-style-type: none">・市民や文化団体、プロモーター等に施設を貸し出す事業・催事が無い日は、楽屋を会議や練習利用として貸し出すなど多目的な使い方を行う・市民が借り手として利用する際は、施設のスタッフが制作や技術等のアドバイスをを行い、文化活動の底上げにつながる支援を積極的に行う

事業計画（案）

（４）事業分類（案）

基本理念および４つの基本方針を実現するために、嘉穂劇場における事業を以下のとおりに分類します。様々なステークホルダーとの連携を通じて、稼働率の向上および地域のにぎわい創出を目指します。

鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none">・プロモーター・イベント等への貸出や主催・共催等の手法で、市民が様々なジャンルの公演を鑑賞できる機会を創出する
創造・体験事業	<ul style="list-style-type: none">・市民や文化団体等に施設を貸出し、利用をサポートすることで他の文化施設では経験できない貴重な活動機会を提供する・市内外の学校や保育園・幼稚園等と連携し、嘉穂劇場での鑑賞機会や見学機会を提供する・子ども・学生をはじめ、あらゆる市民が気軽に楽しめる参加型イベントやワークショップ等を開催し、文化芸術の普及につなげる
観光・魅力発信事業	<ul style="list-style-type: none">・旅行代理店等と連携しながら観光客を誘致し、積極的に施設を公開することで、嘉穂劇場の魅力発信に寄与する・商店街や周辺施設、まちづくり団体等と連携し、エリア全体を活用したイベントやPR活動を行う

事業計画（案）

（５） 具体的な事業イメージ

鑑賞事業

○フランチャイズ公演

特定の上演団体等とフランチャイズ契約を結び、定期的な大型公演、シリーズ公演を実施。例）坂東玉三郎八千代座公演

○ロック&ポップス公演

若い世代に嘉穂劇場に魅力や「劇場文化」そのものを普及するために、トレンドを意識したアーティストによる公演を積極的に誘致する。

○全国座長大会

大衆演劇の殿堂として親しまれてきた嘉穂劇場の歴史を後世へ受け継ぐため、恒例の座長大会を引き続き実施。

○ワンコインシネマ

ふらっと劇場に来ていただく仕掛けのひとつとしてワンコインの映画鑑賞会を実施。

事業計画（案）

（５）具体的な事業イメージ

創造・体験事業

○アマチュア団体等による公演

県内で活動する文化団体や大学サークル等の発表の機会を創出。落語競演会、バンド公演、演劇公演など。

○子ども向け参加型イベント

子ども百人一首大会や怖いお話会、舞台職業体験、夏休みお泊りイベントなど、子どもたちが嘉穂劇場を身近に感じると同時に、コスモスコモンでは経験できないユニークな体験の場を創出。

○市民参加型フェスティバル

市民からプロまで、あらゆるジャンルの人々がステージでパフォーマンスしたり、広場で集ったりと、自由に楽しめるフェスティバルを実施。

事業計画（案）

（５） 具体的な事業イメージ

観光・魅力発信事業

○芝居小屋体験プログラム

教育機関や旅行代理店と提携し、市内外の子どもたちや観光客が芝居小屋の歴史や裏方の仕事を体験できるプログラムを提供。

○ファッションショー＆コスプレイベント

アニメや漫画とコラボしたコスプレイベントやファッションショーを誘致し、ユニークベニューとして嘉穂劇場の魅力を国内外へ発信と集客力の向上を図る。

○イヅカ魅力発信事業（仮）

飯塚花火大会など既存のイベント連携や、周辺飲食店と商品券や入場券の提携、商店街や周辺施設まで飛び出したアウトリーチ事業を展開し、嘉穂劇場を出発点に飯塚のまち全体がにぎわう各種事業を実施。

※改修後の嘉穂劇場の利用見込みを把握するため、プロモーターやイベント会社等にヒアリング実施予定

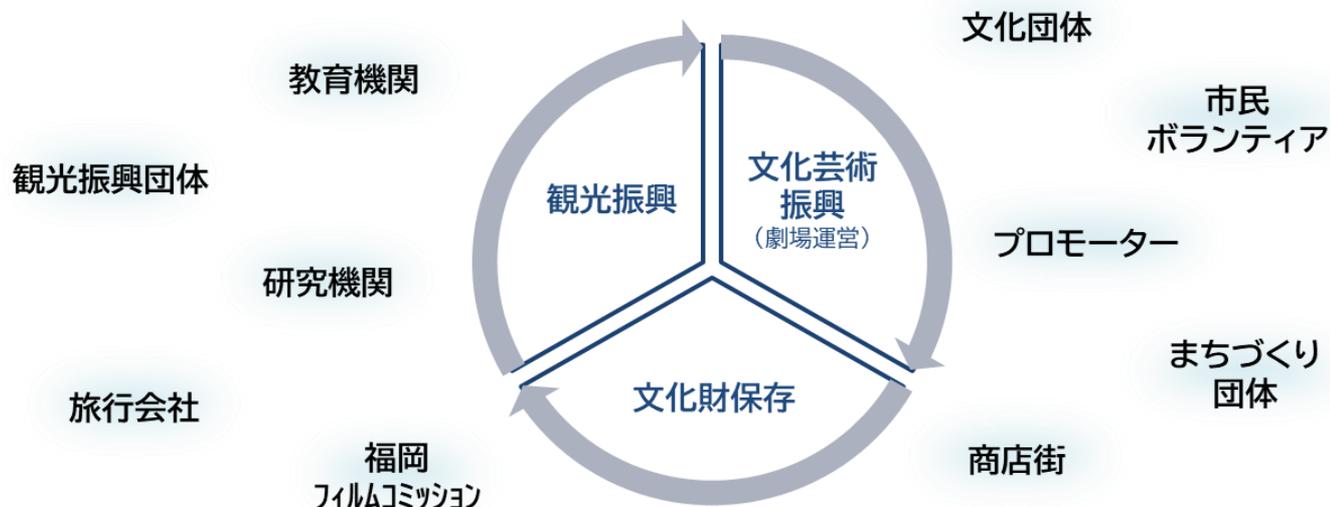
4. 組織計画の考え方について

組織計画（案）

（１）基本的な考え方（案）

嘉穂劇場の運営主体には、公共施設としての役割を十分に把握し、「文化芸術振興・観光振興・文化財保存」の側面から長期的な視点を持って運営していくことが求められます。

先に記載した事業内容を実施するためには、プロの実演団体やプロモーターだけでなく、地域のまちづくり団体や教育機関、旅行会社など、多様なステークホルダーと連携できる幅広いネットワークや専門性が必要と考えます。



組織計画（案）

（２）必要な職能（案）

職能	内容
館長	・嘉穂劇場の施設利用・管理における全体統括
貸館対応・窓口担当	・貸館日程の管理や下見・打合せの対応、各種申請書や使用料の收受
貸館営業担当	・これまで嘉穂劇場を利用していたプロモーター等へはもちろんのこと、ユニークベニューとして有効活用するために多方面へ施設の営業を実施
企画制作担当	・創造・体験事業の主担当として、地域に開かれた各種イベントの企画制作
観光・文化財継承担当 （キュレーター）	・観光客・見学者への案内のほか、嘉穂劇場の歴史を継承・発信するために歴史的資料の収集や展示・活用、担い手育成等を実施
広報・マーケティング 担当	・企画制作担当や観光・文化財継承担当と連携しながら、施設周知・券売促進のための広報宣伝を実施 ・HP管理、広報誌の発行、顧客管理、寄付者開拓、取材対応等
舞台技術担当	・舞台機構・照明・音響の各設備や大道具備品の日常管理、メンテナンス、利用者サポート ・特に綱元は昔ながらのものが現存しているため、その技術を保存・継承しながら、安全に運用 ・舞台技術者の担い手育成や市民参加型ワークショップ時の講師としての指導
維持管理担当	・建物や駐車場、電気・空調などの設備の管理・日常点検、警備、清掃等 ・特に建物全体の文化財としての価値を損なわないような維持管理を実施
総務担当	・各種報告書の作成や契約関係の管理、労務管理、庶務業務

組織計画（案）

（３） 想定される運営主体パターン（案）

		パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
維持管理		直営＋委託	直営＋委託	指定管理	指定管理
舞台技術		直営＋委託	直営＋委託	指定管理	指定管理
貸館事業		直営（市職員）	直営（市職員）	指定管理	指定管理
自主事業	劇場公演	直営（市職員）	直営＋委託	指定管理	指定管理 一部直営／委託
	観光・見学	直営（市職員）	直営＋委託	指定管理	
	保存・継承	直営（市職員）	直営＋委託	指定管理	
概要		施設の貸館及び自主事業、維持管理を一括して直営で行う 舞台技術や点検等は業務委託が一般的	貸館の使用許可等、直営として最低限の業務を行う職員だけ置き、実質的にほとんどを民間に委託する	市の外郭団体、民間企業、NPO等が単独、または共同企業体を構成して指定管理者となり、施設の貸館業務、自主事業、維持管理を行う	貸館、舞台技術、維持管理は指定管理者とし、自主事業の一部を直営または民間・財団等に委託する
主な特徴		○市の施策を事業に反映できる △職員に異動があり事業の専門性や持続性の確保に課題がある	○自主事業を委託にすることで市職員数を削減することができる ○事業に合わせて効果的な事業主体を選べる △市が適切に統括していく必要がある	○指定管理者のノウハウを一体的に発揮できる △事業者によって事業内容の得手不得手があり、全ての事業を高い水準で実施できるとは限らない △地域とのつながりの持続性確保に課題がある	○指定管理者のノウハウを発揮できる ○市の関与が重要でもある地域連携事業を指定管理から切り離すことができる △指定管理事業と委託事業の連携が図りづらい

5. 休館中のイベントについて

休館中のイベントの考え方

●休館中イベントの目的

- ① 嘉穂劇場の魅力や価値を市内の子どもたち、県外の方々に広くアピールする
- ② WS参加者や関係団体と連携した活動を始めることで“市民主体”の基礎をつくる
- ③ イベントをとおして、再開までの計画状況を広く周知するとともに劇場再開後の期待感を醸成する
- ④ イベントをとおして、街のにぎわいづくりに貢献する

●市民ワークショップでの意見

分類	内容
劇場内&広場イベント	<ul style="list-style-type: none">・現場見学ツアー、市民への見学会、ライトアップ（キャンドルナイト）・広場での野外イベント（ライブや芝居など）・キッチンカー設置、フリーマーケット、嘉穂劇場応援マルシェ・映え写真フォトコンテスト開催
周辺エリアでのイベント	<ul style="list-style-type: none">・スタンプラリーウォーキング大会、商店会との連携イベント・コスモスコモンで大衆演劇公演 & 嘉穂劇場の宣伝・コスモスコモンのカラーリングを「嘉穂劇場」風に
情報公開・広報活動	<ul style="list-style-type: none">・公式HP立ち上げ、市HPにて嘉穂劇場情報の発信・情報誌発行、シンポジウムの開催
制作・出版	<ul style="list-style-type: none">・貴重な写真をおさめた写真集の制作 & 出版、ドキュメンタリー制作・観光マップ作成、グッズやマスコットの制作、シンボルマーク制作
市民サポーター育成	<ul style="list-style-type: none">・嘉穂劇場ツアーガイド育成、劇場案内人の育成・嘉穂劇場勉強会

プレイベントの実施に向けて解決すべきこと

● 主な課題

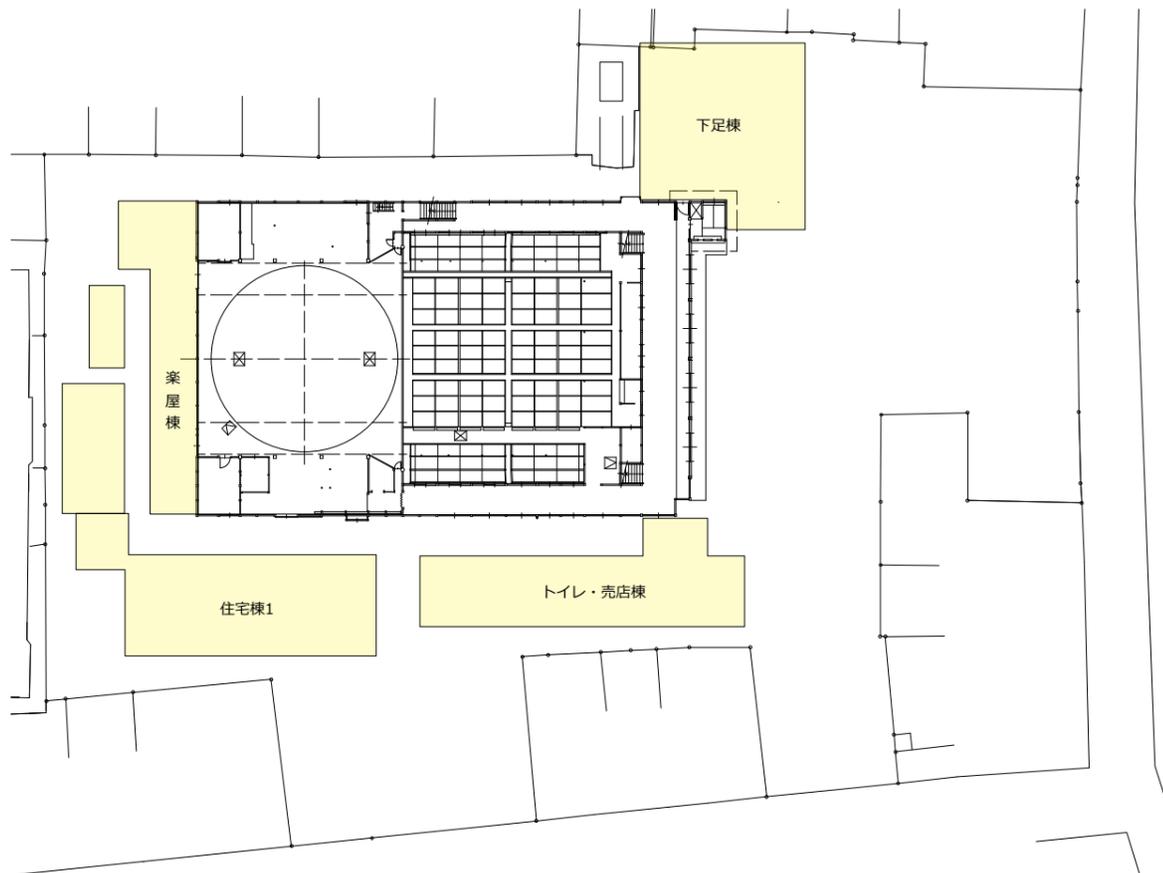
- ①耐震診断結果をふまえた、劇場内や駐車場広場の立ち入り可否の判断
- ②市民ボランティアによる見学ツアーを実施するために、劇場案内人の育成や説明内容を整理
- ③イベントが開催しやすい実施体制を検討
→プレイベントを実行委員会形式にすることで予算の計画・施行がしやすくなる
その際には 窓口対応や会計管理担当について協議が必要
- ④市民主体のプレイベントの際には市民サポーターメンバーの募集が必要
→企画制作・運営を担う継続的な市民サポーターとイベントごとの単発ボランティアなど、組織体を分ける方法なども併せて検討
- ⑤開館までの期間を通して、どのタイミングでどのようなイベントを実施するのかを整理

6. 今後の審議の進め方

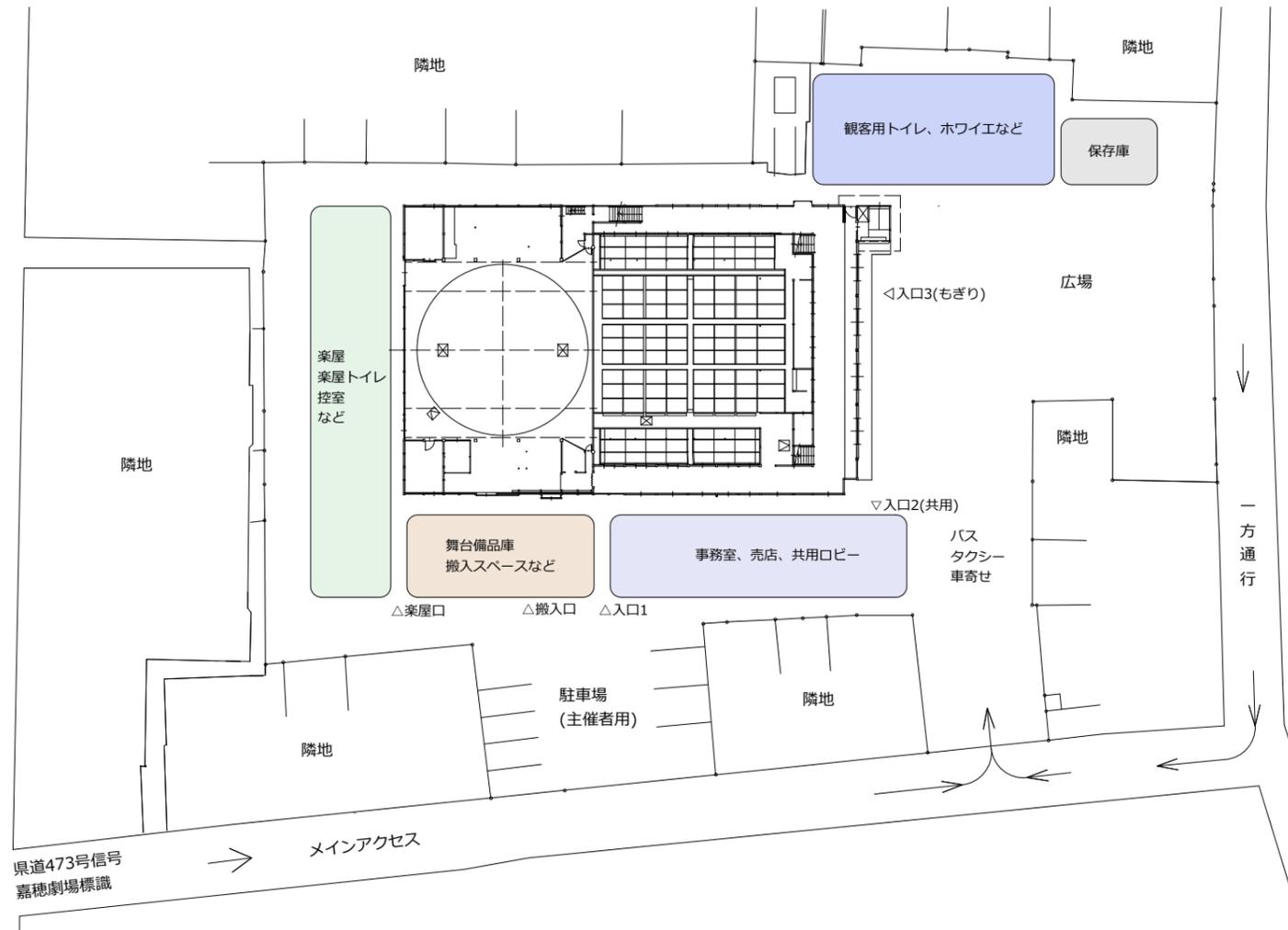
検討テーマ（予定）

回数	時期	主な議題	概要
第1回	R5.7.14	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの検討経緯について ・今後の進め方について ・基本理念（案）について 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経緯の説明 ・基本理念（案）の提示
第2回	R5.8.31	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念(修正案) について ・劇場空間のあり方について ・事業計画の考え方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念の協議、確認 ・劇場空間のあり方についての確認、協議 ・事業計画の考え方の確認、協議
第3回	R5.10.18	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の改修について ・事業計画方針（案）について 	<ul style="list-style-type: none"> ・改修計画における法規の説明、協議 ・施設の改修内容についての確認、協議 ・事業計画方針（案）の提示
第4回	R6.1.29	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の改修について ・事業計画（案）について ・組織計画の考え方について ・休館中イベントについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築指導課協議の報告 ・事業計画（案）の提示、協議 ・組織計画における課題の提示 ・休館中のイベントに関するワークショップ意見提示、協議
第5回	R6.3	<ul style="list-style-type: none"> ・施設改修計画について ・組織計画（案）について ・休館中イベント（案）について ・収支計画について 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設改修計画（案）の提示 ・組織計画（案）の提示 ・イベントおよび市民参画の方針（案）提示 ・収支計画の考え方の確認、協議
第6回	R6.5	<ul style="list-style-type: none"> ・施設改修・管理運営計画(案) について ・今後のスケジュールについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・素案の確認、意見交換

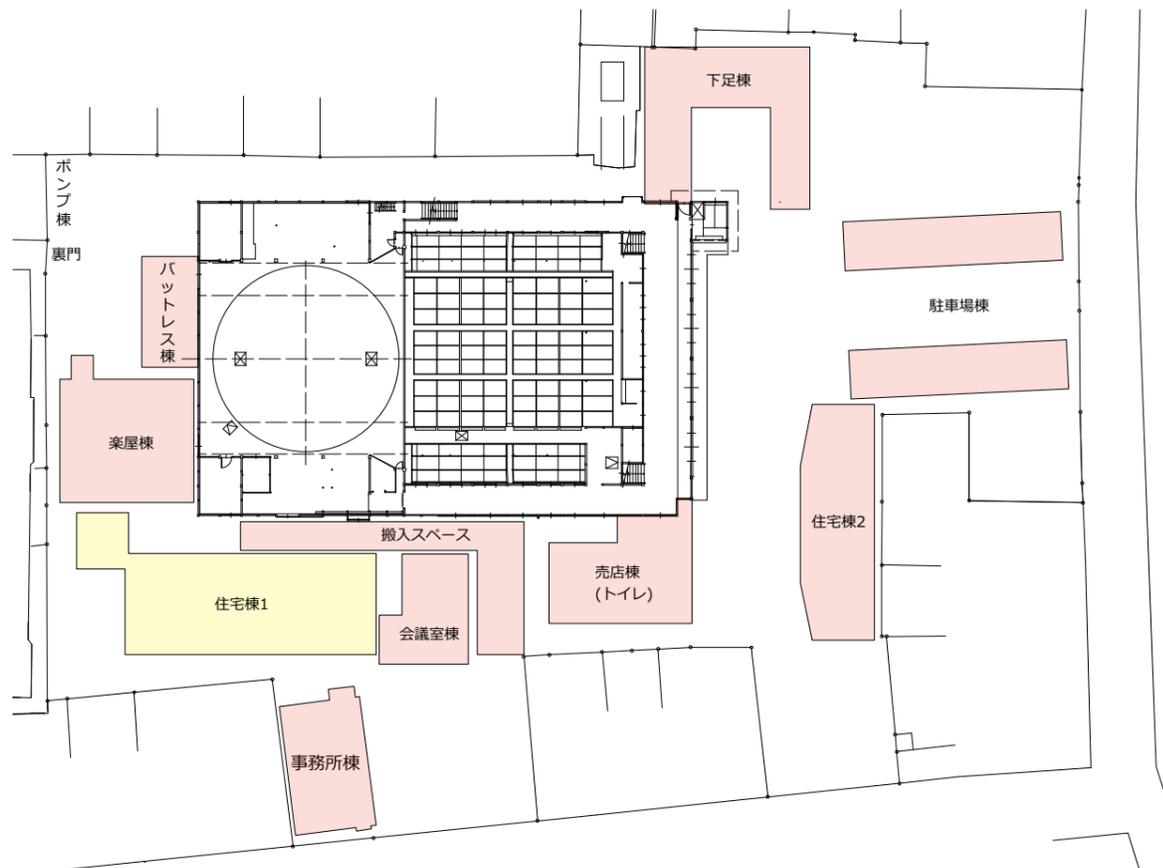
※業務進捗状況により、検討内容は変更の可能性あり。



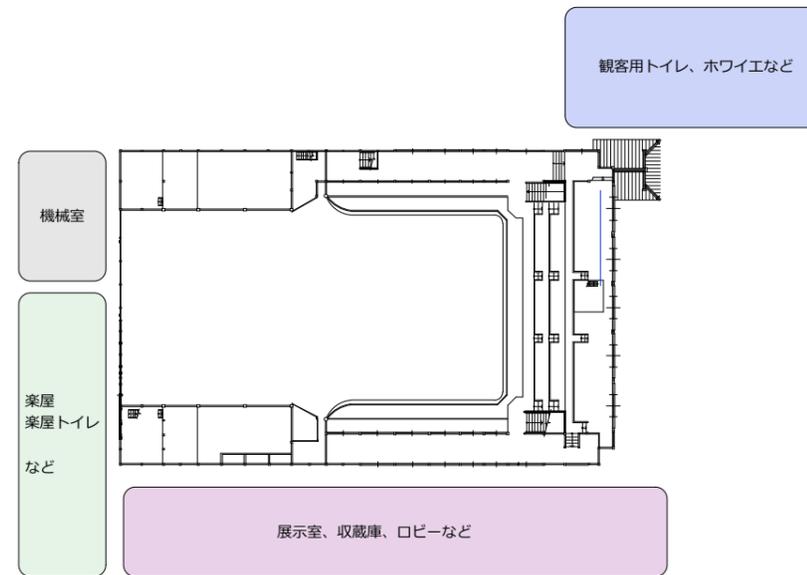
開館当初の全体配置図



配置および1階のゾーニングイメージ



現在の全体配置図



2階のゾーニングイメージ

休館中も嘉穂劇場の魅力・歴史を子どもたちに伝えたい



令和5年10月28日(土)、4回目の市民ワークショップが開催されました。今回のテーマは「どうやって魅力を発信する?」。初回より嘉穂劇場の課題として挙げられていた「情報発信」について、休館中にできること・再開後にできることの2つに視点を分けて考えていただきました。皆さんのアイデアをご紹介します!

小さなことでも良いから、現状の発信を!

これまで4回ワークショップを実施してきましたが、参加者の皆さんより「再開の計画がどう進んでいるのかわからない」「子どもたちが嘉穂劇場のことを知らないで育ってしまう」というご指摘を毎回いただいています。市のHPより定期的に公表はしていますが、より!魅力的かつ広域的に情報発信をするために今できることを意見交換しました。

具体的な手法として提案されたのは、「公式HPの毎日投稿」「可能な範囲で一般市民への見学会」「シンポジウムの開催」「回覧板」「コスモスコモンと連携したイベント」など。

子どもからご年配の方まで広く周知するためには、インターネット、SNSに頼るだけでなくPRイベントを開催したり、紙媒体を活用したりと、あらゆる手法を用いることが重要ですね。



ミニFM局を開設して、イベント情報・地域情報を発信

そして、開館後の認知度アップ、集客力向上アイデアについては、大型公演を行うことはもちろんのこと、地域に密着した施設として「嘉穂劇場にミニFM局を開設し地域情報とイベント情報を発信」というアイデアが挙がりました。面白そうですね...!車を利用する人が多いので、ラジオを通したPRは影響力が大きいのではないのでしょうか?他にも沢山のアイデアが挙がりましたので裏面ご覧ください!



次回ワークショップ予告

第5回 11月25日(土)

「自分たちにできることは?」これまで出てきた各種事業、取り組みアイデアを実現するために、市民はどのように運営サポートできるか?市民参加・参画について考えます。

WS意見一覧は裏面へ!

なんでもアンケート意見ご紹介

グループの雰囲気がよく、楽しく話し合うことができました。よりよい方向に進んでいくといいです。

「SNS」と言えど本当にそれだけでいいのかと思う。やっぱり「何をやるか」が一番の情報発信だと思う。

色々なアイデアを話し合い、教えてもらい、楽しく参加することができました。嘉穂劇場がみんなに愛される劇場になってほしいと改めて思いました。

嘉穂劇場の歴史や建築についての勉強会が必要だと。それが出発点かなと。

	休館中にできる情報発信アイデア	再オープン後の施設・イベント情報発信アイデア		
魔法使いチーム	<p>Now</p> <ul style="list-style-type: none"> HP立ち上げ (何なくとも毎日発信) 今日の嘉穂劇場 (スカイツリー工事みたいに) 嘉穂劇場の移り変わりも常に発信していく 「何もしていない」事を発信 (あえて!) 今、北九州に来ている中村座にきいてみる <p>イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで壁ぬり 劇場前広場でのイベント 現場見学ツアー 地元のアーティストとコラボライブイベント みんなで解体 キャンドルナイト (ライトアップ) 取り壊したものを分ける 入口にトリックアート 	<p>インターネット</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSはゼツタイやる インスタの影響は大 やっぱり…マスメディア使う 役者さんに紹介してもらう アバターつくる?! ふね子のように観劇や旅をさせる → SNSで発信 <p>・1日子ども館長</p> <p>・グッズ販売</p> <p>イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 時代劇ゾーンの展示 (インスタレーション、絵看板) イルミネーションライトアップ よさこい踊りコンテストの全国大会を嘉穂劇場で ダンスコンクール カラオケ大会 個人の絵画展覧会 写真コンテスト コスプレ大会 ハロウィン大会 発明品大会 バンドコンサート 管弦打楽器コンクール (ソロ、アンサンブル) ピアノ、バイオリンコンクール 		
お菓子チーム	<p>現状の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> 嘉穂劇場の現状を公表 劇場の現状をアピールし賛同を得る → そのコンテンツを発信 一般市民の見学会 見学会をする 市民から案の提出 シンポジウムの開催 アンケートの実施 市のウェブサイトを利用して、広く意見を求める 現状を広く知らせる 市報、区の回覧板、新聞 資金あつめ <p>・劇場の案内人の育成 (コンテンツ、ヒストリー作り)</p>	<p>市の姿勢…??</p> <p>目指す方向性?</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化における市の姿勢 新しい文化都市を目指すのか、昔のイメージを保存するのみの計画とするのか? 少子高齢化の中で子ども達が生きてできる空間 <p>市民協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民協働の作品作り 嘉穂劇場の周辺の人達に協力を 	<p>人があつまる! 公演・イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 作家、作曲家の発表会 有名な役者の定期公演 宝塚歌劇団の公演 歌舞伎公演のシリーズ化 ドキュメンタリー映画祭 (株)ファーンワッド / 中村勘三郎 習字、日本画などの美術展 小学生を対象としたワークショップ 夏休みに体験イベント 文化祭 子どもが集まるしゅきを! <p>デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> 入口のデザインを考える 飯塚発の芸術家そのだ正治のデザイン 嘉穂劇場のシンボルマーク 魅力的なポスターデザイン 嘉穂劇場マスコット作成 嘉穂劇場オリジナルの座布団の柄 座布団の色を変える 	<p>運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口担当には情報発信するための様々な手段を考え、行動できる人を! 伊藤邸と同じような市民案内ボランティアは可能だと思う <p>にぎわいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村フェア 市町村特産品 劇場の周りに街灯!! (今はまっくら…) 劇場スタートのウォーキングコース <p>施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺敷地を無料駐車場に 国の指定文化財を目指す!!
かほちゃチーム	<p>開業にむけたアピール</p> <ul style="list-style-type: none"> 劇場の様子とリンクしたドラマ作成! ドキュメンタリー制作!! 改修中の様子を見られるモノを… (ポスター、映像etc) 1000日前あたりから盛大にカウントダウン(注目度大!) 外にプロジェクター設置し、中の様子をカメラで公開 <p>敷地内でイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場にステージをつくり、劇場前でイベントをする キッチンカーを呼びこむ 過去の看板を展示する 仮設ステージをつくり、芝居やイベントをする! 駐車場でフリーマーケット 外構で子どもがターゲットのイベント 駐車場で「嘉穂劇場応援マルシェ」をする 劇場応援映え写真(外観)フォトコンテストイベント 外構でイベントをする 	<p>敷地外でできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォーキング大会 (ラリーポイント) コスモスモンのカラーリングを「嘉穂劇場」風に コスモスモンで大衆演劇のイベントを取り入れ嘉穂劇場を宣伝する! 既存のイベントで「嘉穂劇場」ばいアイテムをデザイン (カラー、看板、衣装) 「役者っぽい集団」の目撃情報をSNSに載せる (そういうコンセプトのアカウントで) 	<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 嘉穂劇場サポーター員 嘉穂劇場にミニFM局をつくり、地域情報、イベント情報を発信 <p>有名を呼ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎 座長大会(復活祭) 昭和歌謡コンサート 役者と商店街で交流できる 名画上映会 (俳優・監督・関係者を呼ぶ) 大使を任命 	<p>地元向け</p> <ul style="list-style-type: none"> 七五三の記念写真 成人式 市民による年越しカウントダウンイベント 小中高の卒業式、入学式 ステージをフリースペースとして、会議の場としても利用 (最中の様子はSNSで) ライトアップ <p>外の人向け</p> <ul style="list-style-type: none"> のぼり旗→服リメイク インバウンド向けコスプレ大会 昭和レトロ体験イベント 小道具でOO (有名ブランド風衣装) 商店街のルートをエリア分けして、演目に合わせて寸劇

自分たちでできることを考える

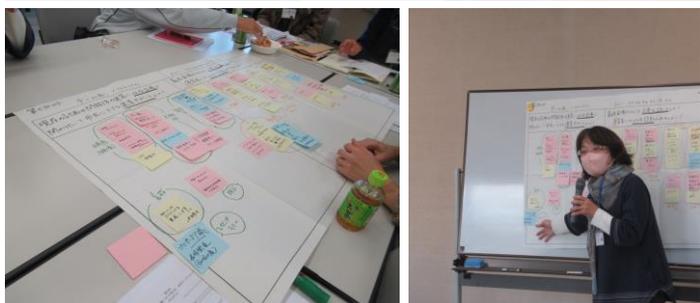
令和5年11月25日(土)、5回目の市民ワークショップが開催されました。今回のテーマは「自分たちでできることは？」。これまでに挙げられたアイデアを少しでも多く実現するために“市民の力”で出来ることについて考えていただきました。

さらに、嘉穂劇場再開後にどんなスタッフと一緒に地域を盛り上げていきたいか「必要な専門家や役割」についても話し合いました。皆様のご意見紹介していきます！

まずは“芝居小屋勉強会”を企画する！？

2つのグループを通して最も多かったご意見は「市民ボランティア」として運営のお手伝いをするというものでした。その中で、参加者より「継続性・持続性あるボランティア活動を行うには、全体をコーディネートする専門スタッフや、マニュアル作成、育成&研修システムの構築が求められる」とのご発言がありました。他施設でも市民サポーター団体を立ち上げている事例は多く見られますが、高齢化やメンバーの固定化が問題となるケースもあります。若い世代も参加したいと思えるようなオープンなボランティア組織を目指していきたいですね。

また、「まず市民が嘉穂劇場の歴史や芝居小屋、舞台技術について学ぶことから始めては？」というご意見も。様々なバックグラウンドをお持ちの皆さんが主催者&講師として勉強会を開催してみるとより多くの方々に関心を持ってくれるかもしれませんね！



嘉穂劇場にどんなスタッフや専門家がいてほしい？

再開後の嘉穂劇場スタッフ求められる専門性や役割についてもご意見を頂戴しました。「嘉穂劇場や飯塚の歴史を言葉にして発信できる人、学校や地域団体とのネットワークを持つ人、外国語対応できるスタッフ、お茶子さん※」などのアイデアが集まりました。

また、嘉穂劇場の魅力を県内外に広くアピールするために、歌舞伎役者や市内アーティストに運営に参画してもらいたいというご意見も。芸術監督や名誉館長、アドバイザー、アソシエイトアーティスト※などの役職を導入している他の文化施設を参考にしながら、嘉穂劇場だからこそその組織体制を検討してまいります！

※お茶子さん …劇場、芝居小屋等で客席案内や飲食提供をするスタッフのこと。近年は「レセプションリスト」と呼ばれることが多い。

※アソシエイトアーティスト…一定期間、劇場と提携して創作活動等を行うアーティストのこと。

次回ワークショップ予告 第6回 12月23日(土)

「まとめ&特別講演会」
現在作成中の改修計画・管理運営計画の途中経過を報告させていただいた後、専門家による特別講演会を開催いたします。皆様のご参加お待ちしております！

WS意見一覧は裏面へ！

なんでもアンケート意見ご紹介

色々な方の話を聞かせていただき、勉強になりました。私自身も思い入れがある嘉穂劇場の為に何が出来るかを考えていきたいです。

いざ、何がやれるの？と現実を突きつけられた感じが…そろそろ夢物語じゃダメだね！といった気がして良かったです。

これからは、まず行動、一人一人がボランティア精神を発揮して前に進むべきと思いました。

コスモスコモンや他の劇場などでお芝居(時代劇)を公演して、飯塚の町のイメージがより芝居の町につながって欲しいです。

チーム	現在の計画や開館後の運営にどんな立場に関わりたい？ 市民にできる運営サポートとは？	嘉穂劇場だからこそ必要なスタッフとは？ 運営者にはどんな役割があるとよい？
オレンジ	<p>○映画(映像)制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像、フィルムアーカイブ ・映画関係企業に相談してみる ・シネマ歌舞伎 <p>○広報PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webサイトや機関誌などの広報活動サポート ・チラシ、ポスターの作成 →デザイナー経験あり ・看板のデザイン作成 ・見学者用のビデオ作成 ・外部団体視察受け入れ&ツアー <p>○育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジニアの育成します！ <p>○スタンプラリーの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎街道 ・商店街 	<p>○参加型イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンドやっている子どもや学生がステージに立ったり創造活動できる機会をつくる ・イツカジャズフェスティバルの企画制作担当 ・市民参加型イベントなど市民を巻き込んだ企画の実施 ・花柳流踊り大会 ・茶会大会 ・定期的に美術展示室として一般市民が利用できるように <p>○学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校とパイプを持っている人材 ・小中高学校発表会を行う →学校と連携する <p>○色々できる人、スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画祭や歌舞伎公演の企画ができる人 ・スタッフは緊急時の対応ができるように研修、育成を徹底 ・キッチンカー業者との提携 ・福岡市民ホールなど他施設とのネットワークを持つ人材 <p>○おもてなし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶子さん ・ホスピタリティの精神 <p>○芝居小屋ならではの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化や歌舞伎、嘉穂劇場の歴史などに詳しい人材 ・歴史、文化を言葉にできる人、説明できる人 ・着付けが出来る人 →アマチュア団体へのサポートや観光客への着付けサービス <p>○ボランティア体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティア団体の運営や全体調整できる体制を徹底 ・ボランティアコーディネーター →ボランティアを育てる人、集める人 ・ボランティアのマニュアル化 <p>○劇場の“顔”になる人!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村獅童氏を運営のトップに！芸術監督！ ・能楽師、木月晶子氏とのコラボ ・そのだ正治氏にデザインのプロデュースをしてもらう <p>○提携団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的or常態的な催しを行う団体、劇団との提携 ・実演団体との連携
ツバメ	<p>○ボランティア・サポーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂劇場のサポーター員 →チラシ配り等 ・市民ボランティア ・サポーター員として具体的に関わりたい →ボランティアとして自分が役に立っている！と思える ・劇場サポートスタッフとして、ボランティアとして働きたい ・市民ボランティアグループを作る →コーディネーターが必要 ・ボランティア、スタッフの継続性、次につなげる仕組みが必要 ・若い人にもボランティア・スタッフとして関わってもらいたい ・運営委員、実行委員を作る <p>○ボランティアの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇場見学案内人ボランティアとしてしっかり育成&研修 ・パンフレット制作&案内 ・嘉穂劇場の歴史勉強会メンバーとして参画したい ・通訳としてボランティア活動 ・飯塚には美術館がないので、作品を展示することで参画 →飯塚美術協会委員としてメンバーに声掛け <p>○広告・宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP作り(広告etc…) ・嘉穂劇場アピール活動の立案 スタッフ(広報営業部門) ・嘉穂劇場の宣伝活動 ・口コミでイベントを宣伝する ・嘉穂劇場スタッフとして他都市に宣伝、ボランティアに行き、知名度を上げる <p>○劇の演出や出演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代劇など演劇公演への出演 ・時代劇の演出(企画、制作部門) ・舞台美術道具の管理と制作(舞台美術部門) ・時代劇俳優の育成(市民劇団) 	<p>○歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史建造物の専門家 ・嘉穂劇場や飯塚の歴史を発信できる人 ・歴史に詳しい人 <p>○舞台美術・道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台道具の管理スタッフ ・舞台技術育成講座 ・美術スタッフの育成 <p>○若年層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に協力を募る ・地元の大学、高校と連携する <p>○外国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の説明ができる方 ・外国語のできる案内スタッフ <p>○商店街・企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉穂劇場が主になるのは当然ですが、周りの商店街などの協力を者を ・地元企業と連携する <p>○売店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売店スタッフの確保 ・売店等に売り子として行った事があります <p>○環境面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇場にはピアノくらい置いてほしい(設置整備ボランティア) ・歌手等よく観に行きました、駐車場に大変困りました <p>○トータル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制の各部門にサポートスタッフを付ける ・いろいろなサポートができる人たちに参加していただく ・お芝居に詳しい人